

自己評価報告書（令和2年度）

令和2年度の自己評価校内委員会を開催し、教職員総意の元、評価を以下の通り実施した。

・評価実施日 : 令和 2年9月15日

・自己評価委員 : 学校長他全教職員

評価概要	評定 4:適切に対応 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切	評 価
(1) 教育方針・目標 教育方針、教育目標とも、しっかりと定められている。	4	教職員及び学生が毎朝の朝礼で唱和し、周知されている
(2) 学校運営 学校全体で共通の意思決定を共有することで競合他校に負けない経営を実践している。	3	共通の認識が及ばないことがあり、意思疎通の齟齬が見受けられる。
(3) 教育活動 年2回カリキュラム編成委員会を設置し、ブライダル、ホテル業界の委員から、今の現場の状況に即した提言をいただき、カリキュラムに反映させている。	4	全体的には良好に稼働しているが、さらなるカリキュラムの改善余地も見られる。
(4) 学習成果 全ての資格取得を目指す。	3	2年生に関しては、昨年度より合格者の減少が見られた。1年生に関しては、初めての科目が多く積極的に取り組んでいる姿が見られる。

<p>(5) 学生支援 日本人及び留学生の就職率100%を目指す。 保護者支援制度の実施。</p>	3	毎年、日本人、留学生とも就職率は100%だが、今年はコロナの影響でかなり厳しい状況が続く。
<p>(6) 教育環境 インターンシップ及び校外(学外)学習について、各業界の協力体制が整っている。 防災に関しても、定期的に避難訓練を実施し、安全体制が整備されているか。</p>	3	コロナ禍により、インターンシップ及び校外学習が計画通りに実施できていない。 また、避難訓練も同様である。
<p>(7) 学生募集 2021年度募集に向けて、入学定員に準じた適正な入学者を確保する。</p>	3	高校訪問やオープンキャンパスを通して、積極的に行う。また、SNSを有効に使い、学校の良さをアピールする。
<p>(8) 財務 健全な学校運営を行うための適正な予算管理と、適正な予算執行。</p>	3	4半期毎に予算執行状況を見直し、適正に執行できているかを確認する。予算をオーバーした場合、次の期において縮小するように努める。
<p>(9) 法令等の遵守 交通事故0、犯罪及び犯罪巻き込まれ0、その他近隣の住民の方に対し、御迷惑をかけるない。</p>	4	年2回、中央警察署の方の講話を実施。交通法規、犯罪防止の意識を高めている。
<p>(10) 社会貢献、地域貢献 ボランティア活動、大分駅南口周辺の清掃活動を定期的に行う、</p>	3	コロナ蔓延の為、活動が制限され、思うようにボランティア活動や清掃活動が出来なかった。